

令和5年度

# 登米市病院事業会計補正予算書

並びに予算に関する説明書

〔12月6日提出〕

宮城県登米市



令和5年度登米市病院事業会計補正予算（第3号）

（総 則）

第1条 令和5年度登米市病院事業会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（資本的収入及び支出）

第2条 令和5年度登米市病院事業会計予算（以下「予算」という。）第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正し、括弧書きを次のとおりに改める。

（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額108,248千円は前受金14,800千円及び過年度分損益勘定留保資金93,448千円で補てんするものとする。）

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収	入	
第1款 資本的収入	1,044,662千円	17,736千円	1,062,398千円
第2項 企業債	238,900千円	8,800千円	247,700千円
第3項 補助金	0千円	8,936千円	8,936千円

（債務負担行為）

第3条 予算第5条に定めた債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額について、次のとおり追加する。

事 項	期 間	限 度 額
濃厚流動食等購入（市民・米谷・豊里）	令和5年度から 令和6年度まで	9,253 千円
医療情報システム導入事業（豊里）	令和5年度から 令和6年度まで	392,437 千円

（企業債）

第4条 予算第6条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、次のとおり追加する。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
災害復旧事業債	千円 8,800	証書借入	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融資条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借換えることができる。

令和5年12月6日提出

登米市長 熊谷盛廣



## 予算に関する説明書

	ページ
1. 令和5年度登米市病院事業会計補正予算（第3号）実施計画	
資本的収入及び支出	6
2. 令和5年度登米市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書（補正第3号）	7
3. 債務負担行為に関する調書	8
4. 令和5年度登米市病院事業予定損益計算書	9
5. 令和5年度登米市病院事業予定貸借対照表	10
6. 注記事項（補正第3号）	12
7. 資本的収入及び支出明細書	16
8. 損益計算書の推移	18
9. 貸借対照表の推移	19

令和5年度登米市病院事業会計補正予算（第3号）実施計画

資本的収入及び支出

収入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的収入			千円 1,044,662	千円 17,736	千円 1,062,398
	1 出資金		434,622	0	434,622
		1 出資金	434,622	0	434,622
	2 企業債		238,900	8,800	247,700
		1 企業債	238,900	8,800	247,700
	3 補助金		0	8,936	8,936
		1 補助金	0	8,936	8,936
	7 他会計負担金		371,140	0	371,140
	1 他会計負担金	371,140	0	371,140	

令和5年度登米市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書（補正第3号）  
（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

	既決予定額	補正後の予定額	比較増減
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益（△は損失）	△ 313,393	△ 313,393	0
減価償却費	702,124	702,124	0
固定資産除却費	5,300	5,300	0
長期前払消費税償却	16,657	16,657	0
固定資産の取得による控除対象外 消費税雑損失	23,782	23,782	0
長期前受金戻入額	△ 364,931	△ 364,931	0
固定資産の取得による控除対象外 消費税雑収益	△ 2,914	△ 2,914	0
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 12	0
支払利息	35,485	35,485	0
その他特別利益	△ 18,057	△ 18,057	0
未収金の増減額（△は増加）	254,364	254,364	0
貯蔵品の増減額（△は増加）	1,107	1,107	0
前払費用の増減額（△は増加）	141	141	0
未払金の増減額（△は減少）	△ 88,331	△ 88,331	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 4,774	△ 4,774	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	901	901	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	7,734	7,734	0
小 計	255,183	255,183	0
利息及び配当金の受取額	12	12	0
利息の支払額	△ 35,485	△ 35,485	0
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>219,710</b>	<b>219,710</b>	<b>0</b>
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 275,320	△ 275,320	0
投資その他の資産の貸付による支出	△ 14,800	△ 14,800	0
国庫補助金等による収入	0	8,936	8,936
他会計からの負担金による収入	371,140	371,140	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>81,020</b>	<b>89,956</b>	<b>8,936</b>
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
一時借入れによる収入	1,000,000	1,000,000	0
一時借入金返済による支出	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
建設改良費等の財源に充てるため の企業債による収入	238,900	247,700	8,800
建設改良費等の財源に充てるため の企業債の償還による支出	△ 850,526	△ 850,526	0
他会計からの長期借入金の償還に よる支出	△ 30,000	△ 30,000	0
他会計からの出資による収入	434,622	434,622	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 207,004</b>	<b>△ 198,204</b>	<b>8,800</b>
<b>資金増加額（△は減少）</b>	<b>93,726</b>	<b>111,462</b>	<b>17,736</b>
<b>資金期首残高</b>	<b>458,883</b>	<b>458,883</b>	<b>0</b>
<b>資金期末残高</b>	<b>552,609</b>	<b>570,345</b>	<b>17,736</b>

## 債務負担行為に関する調書

事 項	限度額	前年度末までの支払 義務発生（見込）額		当該年度以降の支 払義務発生予定額		左の財源 内 訳		
		期 間	金 額	期 間	金 額	企業債	他会計 繰入金	事業収益等
濃厚流動食等購入（市民・米谷 ・豊里）	千円 9,253		千円	令和5年度から 令和6年度まで	千円 9,253	千円	千円	千円 9,253
医療情報システム導入事業（豊 里）	392,437			令和5年度から 令和6年度まで	392,437	382,600	9,837	0



# 令和5年度登米市病院事業予定損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

1 医 業 収 益			
(1) 入 院 収 益	3,780,333		
(2) 外 来 収 益	1,840,396		
(3) その他医業収益	229,620		
(4) 他 会 計 負 担 金	<u>585,252</u>	6,435,601	
2 医 業 費 用			
(1) 給 与 費	4,836,180		
(2) 材 料 費	691,281		
(3) 経 費	1,401,566		
(4) 減 価 償 却 費	702,124		
(5) 資 産 減 耗 費	6,412		
(6) 研 究 研 修 費	<u>23,714</u>	<u>7,661,277</u>	
医業利益 (△損失)			△ 1,225,676
3 医 業 外 収 益			
(1) 受取利息配当金	12		
(2) 他 会 計 補 助 金	231,048		
(3) 補 助 金	4,063		
(4) 負 担 金 交 付 金	469,896		
(5) 患者外給食収益	136		
(6) 長期前受金戻入	364,931		
(7) 引 当 金 戻 入	80,650		
(8) その他医業外収益	<u>53,046</u>	1,203,782	
4 医 業 外 費 用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	35,485		
(2) 長期前払消費税償却	16,657		
(3) 患者外給食材料費	290		
(4) 雑 損 失	<u>252,124</u>	<u>304,556</u>	<u>899,226</u>
経常利益 (△損失)			△ 326,450
5 特 別 利 益			
(1) その他特別利益	<u>18,057</u>	<u>18,057</u>	<u>18,057</u>
6 予 備 費	<u>5,000</u>	<u>5,000</u>	<u>△ 5,000</u>
当年度純利益 (△損失)			△ 313,393
前年度繰越利益剰余金 (△欠損金)			<u>△ 15,605,482</u>
当年度未処分利益剰余金 (△欠損金)			<u><u>△ 15,918,875</u></u>

# 令和5年度登米市病院事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円)

## 資 産 の 部

### 1 固 定 資 産

#### (1) 有形固定資産

イ 土 地		781,397	
ロ 建 物	14,110,238		
減価償却累計額	<u>△ 8,174,859</u>	5,935,379	
ハ 構 築 物	1,065,327		
減価償却累計額	<u>△ 243,674</u>	821,653	
ニ 器 械 備 品	4,380,332		
減価償却累計額	<u>△ 3,303,949</u>	1,076,383	
ホ 車 両	63,206		
減価償却累計額	<u>△ 52,018</u>	11,188	
ヘ リース資産	14,763		
減価償却累計額	<u>△ 14,191</u>	572	
有形固定資産合計			8,626,572

#### (2) 無形固定資産

イ 電話加入権		1,288	
無形固定資産合計			1,288

#### (3) 投資その他の資産

イ 長期貸付金	327,500		
償還免除引当金	<u>△ 309,400</u>	18,100	
ロ 長期前払消費税		266,511	
ハ その他投資		<u>1,680</u>	
投資その他の資産合計			286,291

固定資産合計 8,914,151

### 2 流 動 資 産

(1) 現金預金		570,345	
(2) 未収金	843,110		
貸倒引当金	<u>△ 1,736</u>	841,374	
(3) 貯蔵品		25,281	
流動資産合計			<u>1,437,000</u>
資産合計			<u><u>10,351,151</u></u>

(単位：千円)

		負債の部	
3	固定負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	4,469,142	
ロ	その他の企業債	<u>170,762</u>	
	企業債合計		4,639,904
(2)	他会計借入金		
イ	その他の長期借入金		300,000
(3)	引当金		
イ	退職給付引当金		<u>2,293,744</u>
	固定負債合計		7,233,648
4	流動負債		
(1)	企業債		
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	672,625	
ロ	その他の企業債	<u>15,338</u>	
	企業債合計		687,963
(2)	未払金		290,745
(3)	前受金		66,234
(4)	引当金		
イ	賞与引当金		271,064
(5)	その他流動負債		<u>8,283</u>
	流動負債合計		1,324,289
5	繰延収益		
(1)	長期前受金		3,595,710
	収益化累計額		<u>△ 2,235,083</u>
	繰延収益合計		1,360,627
	負債合計		<u><u>9,918,564</u></u>
		資本の部	
6	資本金		16,225,705
7	剰余金		
(1)	資本剰余金		
イ	受贈財産評価額	107,657	
ロ	その他資本剰余金	<u>18,100</u>	
	資本剰余金合計		125,757
(2)	利益剰余金		
イ	当年度未処理欠損金	<u>15,918,875</u>	
	利益剰余金合計		<u>△ 15,918,875</u>
	剰余金合計		△ 15,793,118
	資本合計		<u>432,587</u>
	負債資本合計		<u><u>10,351,151</u></u>

## 注記事項（補正第3号）

### I 重要な会計方針

#### 1 資産の評価基準及び評価方法

##### ・貯蔵品

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### （1）有形固定資産

##### ・減価償却の方法

定額法による。

##### ・主な耐用年数

建物	15年	～	39年
構築物	10年	～	20年
器械備品	4年	～	10年
車両	4年	～	6年

##### （2）無形固定資産

##### ・減価償却の方法

定額法による。

##### （3）リース資産

##### ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法による。

##### ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法による。

#### 3 引当金の計上基準

##### （1）退職給付引当金

当年度末における職員に対する退職手当の要支給額（2,519,510千円）から、宮城県市町村職員退職手当組合における積立金相当額（225,766千円）を控除した額を計上している。

##### （2）賞与引当金（法定福利費引当金含む）

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴う法定福利費の支払いに備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) 償還免除引当金

医学生及び看護師奨学資金等貸付金の償還免除等による損失に備えるため、個別に回収の可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

4 その他会計に関する書類作成の基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当年度の費用として処理している。ただし、病院建設事業の固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行う。

## II 予定貸借対照表関係

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年以内に償還予定の額も含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、5,093,887千円である。

2 賞与等引当金の取崩し

令和5年度において、職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴う法定福利費として263,330千円を使用する見込みである。

### III セグメント情報

#### 1 報告セグメントの概要

登米市病院事業会計は、3病院、4診療所、2訪問看護ステーションを設置していることから、本局を含めた10の報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
登米市民病院	入院、外来、救急医療業務
米谷病院	入院、外来、救急医療業務
豊里病院	入院、外来、救急医療業務
登米診療所	(医療法人への貸付)
よねやま診療所	(休止)
上沼診療所	外来医療業務
津山診療所	(休止)
訪問看護ステーション豊里	訪問看護、訪問リハビリ業務
訪問看護ステーション米谷	訪問看護、訪問リハビリ業務
本局	上記施設の統括業務

#### 2 報告セグメントごとの医業収益等

当年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円 税抜)

項目	登米市民病院	米谷病院	豊里病院	登米診療所	よねやま診療所	上沼診療所
医業収益	4,131,400	912,331	1,094,859	0	0	58,983
医業費用	4,629,389	1,278,477	1,208,074	26,898	19,259	60,538
医業損益	△497,989	△366,146	△113,215	△26,898	△19,259	△1,555
経常損益	△69,247	△179,206	69,206	△3,085	△15,722	11,362
セグメント資産	4,320,620	3,987,546	940,333	127,649	178,778	75,135
セグメント負債	3,279,445	4,463,114	996,182	110,714	21,223	76,169
その他の項目						
一般会計繰入金 (収益的収入)	809,889	241,248	189,176	0	115	7,936
(資本的収入)	444,094	286,148	56,101	0	1,091	60
減価償却費	348,528	235,460	73,343	18,334	14,807	5,173
特別利益	13,797	2,919	1,147	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
うち減損損失	0	0	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	158,276	16,046	34,091	0	0	1,055

項目	津山診療所	訪問看護 ステーション豊里	訪問看護 ステーション米谷	本局	合計
医業収益	0	155,589	82,439	0	6,435,601
医業費用	1,250	170,802	79,026	187,564	7,661,277
医業損益	△1,250	△15,213	3,413	△187,564	△1,225,676
経常損益	△1,376	8,600	5,862	△152,844	△326,450
セグメント資産	14,874	45,409	17,482	643,325	10,351,151
セグメント負債	5,357	154,018	57,881	754,461	9,918,564
その他の項目					
一般会計繰入金 (収益的収入)	0	7,089	2,895	27,848	1,286,196
(資本的収入)	0	11,347	990	5,931	805,762
減価償却費	0	1,669	0	4,810	702,124
特別利益	0	0	0	194	18,057
特別損失	0	0	0	0	0
うち減損損失	0	0	0	0	0
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	0	20,679	3,300	16,845	250,292



資 本 的 收 入 及

收 入

款 項	目	既決予定額	補正予定額	計
		千円	千円	千円
1 資 本 的 收 入		1,044,662	17,736	1,062,398
2 企 業 債		238,900	8,800	247,700
	1 企 業 債	238,900	8,800	247,700
3 補 助 金		0	8,936	8,936
	1 補 助 金	0	8,936	8,936



# び 支 出 明 細 書

節		金額	説明
区 分	千円		
1 企 業 債	8,800	災害復旧事業債	
1 国 庫 補 助 金	8,936	医療施設等災害復旧費補助金	

## 損益計算書の推移

(単位:千円 税抜)

項 目	A 既 決 予定額	B 補正後の 予定額	比較増減	
			C B-A	D 伸び率
<b>1 医業収益</b>	<b>6,435,601</b>	<b>6,435,601</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 入院収益	3,780,333	3,780,333	0	—
(2) 外来収益	1,840,396	1,840,396	0	—
(3) その他医業収益	229,620	229,620	0	—
(4) 他会計負担金	585,252	585,252	0	—
<b>2 医業費用</b>	<b>7,661,277</b>	<b>7,661,277</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 給与費	4,836,180	4,836,180	0	—
(2) 材料費	691,281	691,281	0	—
(3) 経費	1,401,566	1,401,566	0	—
(4) 減価償却費	702,124	702,124	0	—
(5) 資産減耗費	6,412	6,412	0	—
(6) 研究研修費	23,714	23,714	0	—
<b>3 医業利益(△損失) (1-2)</b>	<b>△ 1,225,676</b>	<b>△ 1,225,676</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>4 医業外収益</b>	<b>1,203,782</b>	<b>1,203,782</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 受取利息配当金	12	12	0	—
(2) 他会計補助金	231,048	231,048	0	—
(3) 補助金	4,063	4,063	0	—
(4) 負担金交付金	469,896	469,896	0	—
(5) 患者外給食収益	136	136	0	—
(6) 長期前受金戻入	364,931	364,931	0	—
(7) 引当金戻入	80,650	80,650	0	—
(8) その他医業外収益	53,046	53,046	0	—
<b>5 医業外費用</b>	<b>304,556</b>	<b>304,556</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	35,485	35,485	0	—
(2) 長期前払消費税償却	16,657	16,657	0	—
(3) 患者外給食材料費	290	290	0	—
(4) 雑損失	252,124	252,124	0	—
<b>6 医業外利益(△損失) (4-5)</b>	<b>899,226</b>	<b>899,226</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>7 経常利益(△損失) (3+6)</b>	<b>△ 326,450</b>	<b>△ 326,450</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>8 特別利益</b>	<b>18,057</b>	<b>18,057</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>9 予 備 費</b>	<b>5,000</b>	<b>5,000</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当年度純利益(△損失) (7+8-9)</b>	<b>△ 313,393</b>	<b>△ 313,393</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>前年度繰越利益剰余金(△欠損金)</b>	<b>△ 15,605,482</b>	<b>△ 15,605,482</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当年度未処分利益剰余金(△欠損金)</b>	<b>△ 15,918,875</b>	<b>△ 15,918,875</b>	<b>0</b>	<b>—</b>

## 貸借対照表の推移

資産の部

(単位:千円)

項 目	A 既 決 予定額	B 補正後の 予定額	比較増減	
			C B-A	D 伸び率
<b>1 固定資産</b>	<b>8,914,151</b>	<b>8,914,151</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 有形固定資産	8,626,572	8,626,572	0	—
土地	781,397	781,397	0	—
建物	5,935,379	5,935,379	0	—
構築物	821,653	821,653	0	—
器械備品	1,076,383	1,076,383	0	—
車両	11,188	11,188	0	—
リース資産	572	572	0	—
(2) 無形固定資産	1,288	1,288	0	—
(3) 投資その他の資産	286,291	286,291	0	—
<b>2 流動資産</b>	<b>1,419,264</b>	<b>1,437,000</b>	<b>17,736</b>	<b>1.2%</b>
(1) 現金預金	552,609	570,345	17,736	3.2%
(2) 未収金	841,374	841,374	0	—
(3) 貯蔵品	25,281	25,281	0	—
<b>資産合計 (1+2)</b>	<b>10,333,415</b>	<b>10,351,151</b>	<b>17,736</b>	<b>0.2%</b>

負債・資本の部

<b>3 固定負債</b>	<b>7,224,848</b>	<b>7,233,648</b>	<b>8,800</b>	<b>0.1%</b>
(1) 企業債	4,631,104	4,639,904	8,800	0.2%
(2) 他会計借入金	300,000	300,000	0	—
(3) 引当金	2,293,744	2,293,744	0	—
<b>4 流動負債</b>	<b>1,324,289</b>	<b>1,324,289</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 企業債(短期)	687,963	687,963	0	—
(2) 未払金	290,745	290,745	0	—
(3) 前受金	66,234	66,234	0	—
(4) 引当金(短期)	271,064	271,064	0	—
(5) その他流動負債	8,283	8,283	0	—
<b>5 繰延収益</b>	<b>1,351,691</b>	<b>1,360,627</b>	<b>8,936</b>	<b>0.7%</b>
(1) 長期前受金	1,351,691	1,360,627	8,936	0.7%
<b>負債合計 (3+4+5)</b>	<b>9,900,828</b>	<b>9,918,564</b>	<b>17,736</b>	<b>0.2%</b>
<b>6 資本金</b>	<b>16,225,705</b>	<b>16,225,705</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>7 剰余金</b>	<b>△ 15,793,118</b>	<b>△ 15,793,118</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1) 資本剰余金	125,757	125,757	0	—
受贈財産評価額	107,657	107,657	0	—
その他資本剰余金	18,100	18,100	0	—
(2) 利益剰余金	△ 15,918,875	△ 15,918,875	0	—
当年度未処理欠損金	15,918,875	15,918,875	0	—
<b>資本合計(6+7)</b>	<b>432,587</b>	<b>432,587</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>10,333,415</b>	<b>10,351,151</b>	<b>17,736</b>	<b>0.2%</b>